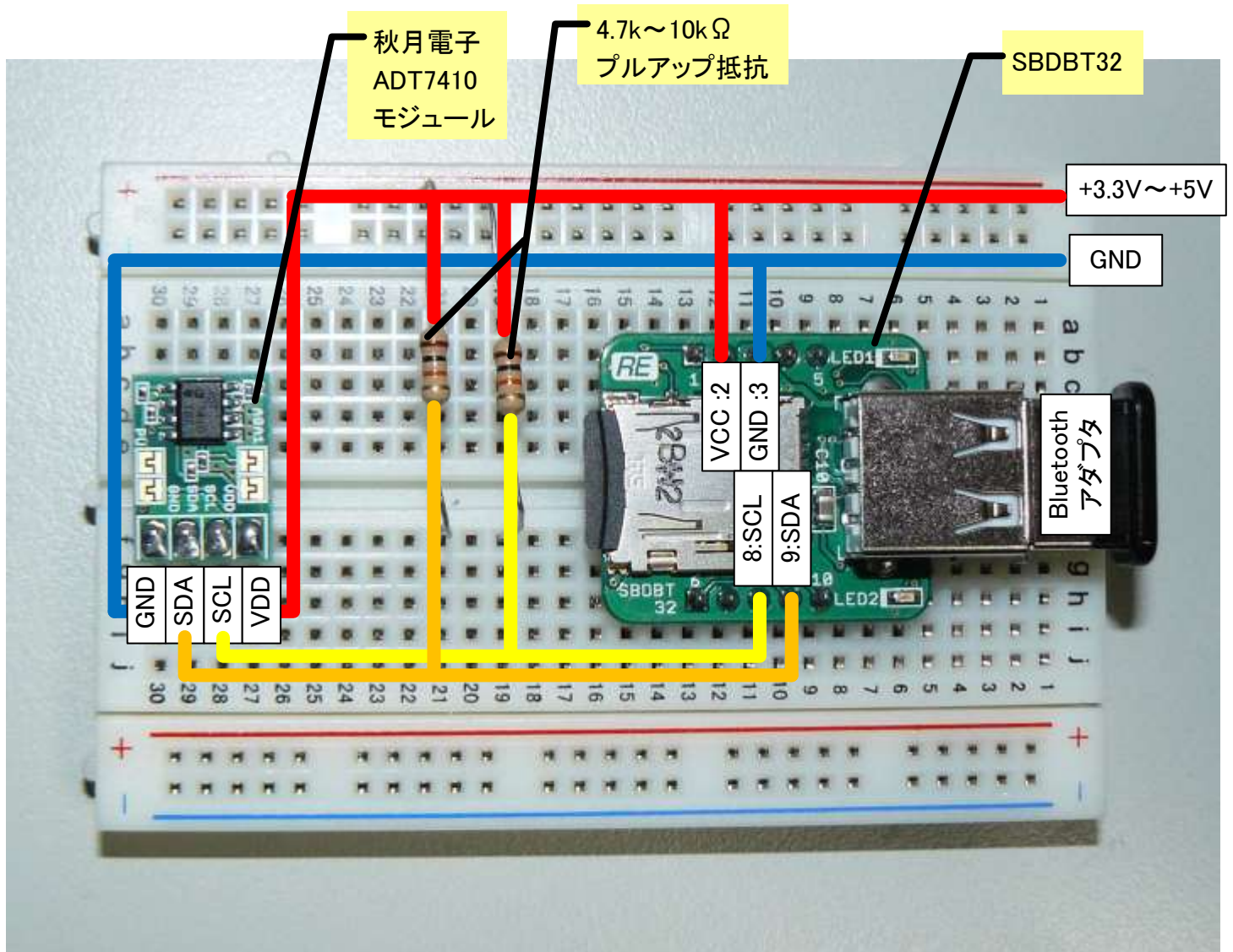


# SBDBT32 ADT7410サンプルプログラム結線図 13/10/29



## 備考

・本サンプルプログラムはSPPサーバーとして動作し、PC等から接続されると秋月電子通商製ADT7410モジュールから温度を1秒間に一度取得し、テキストデータとして送信します。

・ADT7410とはI2Cで通信しますが、データラインのプルアップを行う必要があります。ADT7410のデータシートではtypical 10kΩとなっていますが、4.7kΩ~10kΩ程度の抵抗で問題無いと思います。秋月電子通商製のADT7410モジュールはジャンパ設定によって基板内でプルアップを行うこともできます。基板内でプルアップを行う場合は外部にプルアップ抵抗は必要ありません。

・本サンプルプログラムではADT7410はI2Cのスレーブアドレス0x48が1個のみのシングルドロップとします。マルチドロップで接続する場合はソースファイルを変更してください。

・SBDBT32の8番ピンをSCL、9番ピンをSDAの信号に使用しています。

・Bluetoothアダプタにもよりますが、電源は+3.3V~+5Vで動作すると思います。消費電流は接続時で平均50~100mA程度、ピーク500mA程度必要です。